

平成30年度第2回教育改革 ICT 戦略大会運営委員会議事録

- I. 日時 平成30年6月15日（金）16:00～18:00
場所 私情協事務局会議室
- II. 出席者 向殿委員長、尾崎委員、望月委員、今泉委員、川村委員、友永委員、森本委員、寺田委員（Skype 参加）、木村アドバイザー
（事務局：井端事務局長、野本、平井）

III. 検討事項

1. 教育改革 ICT 戦略大会開催要項の確定

(1) 開催趣旨、1日目の全体会、2日目のテーマ別意見交流、3日目教育改善のための ICT 活用の発表について

- ① 開催趣旨は、2030年以降に第4次産業革命が進展し、産業や生活が大きく変化することが想定される超スマート社会が到来することを踏まえて、問題発見・解決力、価値創造力、情報活用力の質向上を目指した教育イノベーション、ICT活用の普及に向けた課題を探究することにした。
- ② 1日目の全体会は、社会全体が大きく変化する時代における人材育成の方向性及び課題を認識するため、高等教育の人材育成の見直しを検討している文部科学省中央教育審議会の将来構想部会における教育政策の動向、企業から見た教育イノベーションの提案、データサイエンス教育の取り組み、自前主義から脱却して問題発見・解決力、創造力を訓練する ICT 活用による分野横断型による教育イノベーション、著作権法改正による教育の情報化推進について認識を共有することにした。
- ③ 2日目のテーマ別意見交流は、授業改善に向けた ICT 活用の普及が教員の大半に及んでいないことから、活用の促進を強化拡大するため、授業での活用状況を紹介して効果・課題を整理した上で、活用促進に向けた大学での取り組み対策の戦略について探求することにした。
- ④ また、問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデルについて理解を普及するため、教材の紹介及び専門教育と情報リテラシー教育の連携授業の実践について紹介するとともに、教育モデルの実現に向けて学修成果の質保証、カリキュラムポリシーにおける教育モデルの位置付け、教員連携による授業運営体制、大学執行部への理解促進策、全国的な意見交流組織のあり方等について認識を共有することにした。
- ⑤ 3日目の教育改善のための ICT 活用の発表は、公募が遅れたため、公募期間を大幅に延長し、次回運営委員会で最終的に発表スケジュールを決定し、8月1日に本協会の Web サイトで公表する方針を確認した。その上で、第一段階として6月15日時点で37件の応募について要件を精査し、1件を不適切とし、36件の発表を確定した。
- ⑥ また、決定した発表者に案内する発表要項及び抄録の見本を確認した。

(2) 運営委員の役割分担と今後のスケジュールについて

9月4日の全体会、5日のテーマ別意見交流、6日の発表会の司会及び機関誌原稿の役割分担案を提示し、欠席者はネットで調整することにした。

また、大会に向けたスケジュールは、開催要項送付、発表者への通知、講演者への依頼、原稿・抄録の締め切りなど各日程を確認した。

IV. 今後のスケジュール

次回は、7月31日に委員会を開催し、発表者及び運営委員の担当・役割を確定することにした。